



「安全週間特集」  
安全な職場環境作り  
株式会社村上開明堂

当社は昨年度、「協豊会 安全衛生委員会 委員長賞」を頂く事が出来ました。冒頭にこの様なおこがましい台詞を書く会社は、さぞかしすばらしい安全活動をしている会社であろうと思われるかも知れませんが、実は当社の活動は、特に目新しい物は無く基本に沿った地道な物でしかありません。RA、KYT、安全意識・知識教育、安全パトロール…ごくごくありふれた物しかありません。

当社の「安全」に関して一つ挙げるとすれば、社員全員が安全に対する意識を持っているという事です。これは、風土や職場環境から培われる物であり、社員の意識が上がれば、個々の安全活動も意味の有る活動に変わっていくものと考えております。当社の職場環境作りに関わる事例を紹介致します。

① 社 TOP の安全に対する思い

当社では、定期的に社長が現場に出向き「安全点検」を行います。対象の職場の安全に対する考え方・管理の甘さについて厳しく指導を行います。

② 「自部署の安全は自部署で守る」を強調した取組み

会社で決められたプログラムをこなす事だけで、安全活動を行っているとは勘違いしない様、各部署で安全活動計画を立案する仕組みで活動しています。

② 職長～職場 TOP が先頭に立った活動

1回/週「安全専念時間」として班長～部長迄全員が、ヘルメットを着用し、箒を持ちながら、2Sをしなごらという普段とは違う目線での職場巡視を行っています。

意識レベルはまだまだ誇れるものではありません。『安全に終わりなし!』これからも0災害に向け愚直に活動してまいります。

【社長点検】



【安全専念時間】

